

地域社会との共生

マテリアリティ▶



地域社会への貢献

J-POWERグループはマテリアリティに「地域との共生」を掲げ、国内外での積極的な地域貢献活動を通じて、地域社会との信頼関係の構築、地域活性化への貢献を目指しています。「J-POWERグループ社会貢献活動の考え方」を取り組み方針とし、良き企業市民として地域社会への協力、文化・芸術活動の支援、ボランティア活動への参加支援、海外を含めた地域社会への貢献活動に積極的に参加しています。各地の活動実績はサステナビリティ推進会議で取りまとめ、取締役会に報告を行っています。

「J-POWERグループ 社会貢献活動の考え方」についてはJ-POWERウェブサイトをご覧ください。

J-POWERグループ 社会貢献活動の考え方

<https://www.jpowers.co.jp/sustainability/contribution/policy.html>

活動実績

2023年度の活動件数は815件で、当社グループ従業員延べ6,719名が参加しました。

取り組み内容は植林・清掃活動などの地域環境保全・美化活動のほか、教育機関と連携した出前授業（環境教育など）の開催が挙げられます。また、施設見学の受け入れ、地域交流・地元行事への参加や交通安全立哨など幅広く活動を行っています。

○ 2023年度実績

- 活動件数 **815** 件 (2022年度実績 453件)
- J-POWERグループ従業員参加者 延べ **6,719** 名 (2022年度実績 延べ3,263名)

水力／火力発電立地地域での活動例

当社は日本全国61カ所に水力発電所を有しており、それぞれの河川流域で多様な取り組みを実施しています。

新潟県魚沼市では、当社グループ企業である奥只見観光(株)が市との共同事業として、奥只見湖での遊覧船事業のほか奥只見丸山スキー場を営業し、観光事業を通じて地域の活性化およびスポーツ振興に貢献しています。

福島県の只見・田子倉発電所では、東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)グループである(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールスと連携したインフラツアーを実施しています。このツアーでは只見線を利用した鉄道企画に当社施設見学を組み合わせ、地域の魅力の新たな発見や価値提供を目指しています。

また火力発電所・事業所立地地点では、J-POWERジェネレーションサービス(株)による包括運営体制となって以降初めてとなる地域交流イベント・施設見学会を開催しました。こうしたイベントは、地域の皆様に当社グループの発電所や施設を身近に感じてもらい、交流を深める貴重な機会です。



奥只見観光(株) 遊覧船



松島火力発電所感謝デーの様子

海外での社会貢献活動

2022年に商業運転を開始したボタン発電所では、周辺地域社会の自立と継続的な発展を目指し、事業会社であるBhimasena Power Indonesia社(BPI社)を通じ、教育・健康支援活動・インフラ整備を展開しています。

J-POWER米国現地法人であるJ-POWER USA Development社及び各発電会社は、地域の非営利団体等と協働しながら、ボランティア活動や寄付を通じて地域社会の発展に努めています。例えば、地域のニーズを踏まえ、地域住民への食事支援活動や、学生への教育支援、また文化施設への協賛などを実施しています。



インドネシア：CSR活動に関する政府表彰



米国：食事支援活動